サリール・コンサルティング（東京）

プロセス製造業を蘇らせる変革コンサルタント

組織・業務とITの〝あるべき姿〟を追求

消費者動向の細分化により、「ジャスト・イン・タイム」のモノづくりが求められる昨今。世界に冠たる日本の製造業は、ITへの膨大な投資によって目的とする業務変革を成し遂げているのだろうか。

「企業の経営や運営のポリシーに沿って組織・業務プロセスを変革し、収益性を高めるための手段がITです。しかし、実際はITのシステムそのものを作り上げる事が目的になってしまっているように感じます」

と話すのはサリール・コンサルティング株式会社の久保田喜孝社長。住友化学で情報システム部門に携わり、製造現場におけるIT活用の実態に触れてきた。

久保田 喜孝 社長

その後、ITシステムの構築に従事してきた久保田社長は、2003年に独立。現場に軸足を置いて蓄積してきた豊富な知見と経験を生かし、化学や農薬・プラスチック加工・製薬・化粧品・食品など「プロセス製造業」に特化した、業務変革とIT変革のコンサルティングを行っている。

同じ業種の企業であっても毎回〝白紙〟の状態でコンサルティングに臨み、自分の目で製造工程を確認する事から始めるという久保田社長。製造ラインにおける生産変更への抵抗を解消し、フレキシブルな生産体制を構築するためには、ダイナミックな組織・業務変革が重要だと考えている。

「消費者の要望による生産変更が多い事は、メーカーに対する期待の表れです。その期待に応えるためにもマネジメントと実行業務のスピード・柔軟性・PDCAを改善し、今に適した〝あるべき姿〟を築く必要があります」（久保田社長）

実際、売上40億円規模のプラスチック加工会社では、受注に応じて毎日生産スケジュールを更新し、製造・出荷現場に「ジャスト・イン・タイム」での作業指示とPDCAを行う業務プロセスを確立。営業側に置かれていた受注センターを工場の計画作成チームと合体させる事で、現場は「作らされる」という意識から脱却し、消費者ニーズを直に感じ取れる場所に変容した。最適なSCM（サプライチェーン・マネジメント）を実現した好例と言えよう。

縦割り構造に横串を通す「船長」として変革を先導

「受注や生産、購買など〝縦割り〟の司令塔機能に横串を通す事で、情報交換と意思決定のスピードが速まります。しかし、この一番抵抗が大きい変革を実現できるのは経営者だけです」

と、経営者の更なる奮起を促す久保田社長。客観的かつ専門的な視点から生まれる鋭い指摘は、クライアントだけでなくITベンダーからも信頼を集めている。

「業務のプロであるお客様と、ITのプロであるベンダーを繋ぎ、正しい方向に舵を取る『船長』の役割を目指します」（久保田社長）

今後は、プロセス製造業における高度な知識と経験を、他分野の製造業や農業など一次産業などにも提供したいと考えている。（谷）

【会社データ】
本社＝東京都港区芝5―29―22―406
☎＝03―3457―8797
設立＝2003年12月
事業内容＝業務変革・IT変革コンサルティング
http://www.salir-consulting.co.jp
Eメール＝info@salir-consulting.co.jp

製薬及び医療業界
- ◆原薬製造 ◆包装製造 ◆医療用具製造
- ◆製剤製造 ◆検査薬製造 ◆医療品輸入

電子半導体業界
- ◆半導体製造
- ◆カラーフィルター製造
- ◆MOCVD製造

化学業界
- ◆石油化学
- ◆ファインケミカル
- ◆インク・塗料
- ◆農薬
- ◆樹脂加工
- ◆TV等のフィルム

食品・健康食品業界
- ◆インスタントコーヒー製造
- ◆健康食品製造
- ◆一般食品・酒類

化粧品業界
- ◆化粧品製造
- ◆化粧品原料

プロセス製造業における豊富な経験と実績